

# みんなのカルテ

## ～ カルテ改善に取り組んで～

施設名：沖縄県かりゆしの里

発表者：平良聡子

西仲ゆかり 比嘉栄子

与那覇美幸 津波古早苗

島袋春徳 津波古直子

### 【はじめに】

当施設は開設10年を迎え、ISO9001を導入して2年が経過した。職員の力量アップに力を入れ、年々成長してきた。しかし、カルテの記録となると、職員それぞれに、意識のばらつきがあり、記録されていないことが多々ある。より良いケアを提供しても、文章に残っていないければ、無駄になってしまう。今回、カルテ改善委員会を発足して、カルテの見直しと職員の記録への意識改善に取り組んだので報告する。

### 【事例紹介】

カルテ改善委員会メンバー

看護師長、看護主任、看護師1名、  
介護主任、介護副主任、介護福祉士2名  
活動：08年6月開始～11月まで月2回

#### 1. アンケート調査（7月）

記録に関する意識調査を行い、その結果揭示し、職員に周知した。

1回目のアンケートの結果、以下のことが問題点として出た。

- 1) カルテが2冊あり、記録が重複する。
- 2) 記録が不十分で経過がわかりづらい。
- 3) 全員が記録に関わっていない。
- 4) 記録することの意義を理解していない。

以上のことを踏まえて、カルテ改善委員会を中心に計画を立てた。

#### 2. 学習会1回目（8月11日）

まずは、記録する意義を理解してもらう為に、

記録の役割・記録方法の学習会を開いた。

#### 3. 学習会2回目（9月10日）

グループで例題を基に、現在のカルテに記録する。記録する上で、今何が問題かを発表し合った。グループ討議は、看護師、介護福祉士、介護士（臨時、パートも含む）と一緒に行うことで、それぞれの立場からの意見が出て、内容を深めることが出来た。

#### 4. 新カルテ作成

カルテ改善委員会にて、アンケートの結果と学習会で出た問題点からカルテの見直しを行った。

##### 1) カルテの一本化

2冊あったカルテを1冊にした。

2) サービス実施計画書や、その他の書式の見直し。

1日1枚の実施記録を1週間1枚の実施記録に変えた。

行ったケアと、日々の経過がわかるように記録部分の充実と、検温表・体重測定などの用紙変更を行った。

##### 3) スタッフ全員が記録する方法に変えた。

ケア提供者による、記録方法の充実。

#### 5. 学習会3回目（10月10日）

新カルテの記入方法を説明し、例題を基にグループで記録し、皆で利用できるようにした。

#### 6. 新カルテの使用を開始（10月26日）

#### 7. 新カルテ使用に対するアンケート実施（11月10日）

新カルテでの不備や、記録に対する職員の意識の変化を調査した。

#### アンケート結果

学習会を行ったことで

・入所者の立場にたち、どのようにしたら快適に入所者が過せるのか考えることが出来た

・学習会を持ちカルテを見直したことが良かった

・記録の重要性を再認識できた

・皆の意見を出し合っ使用しやすいカルテになった

新しいカルテを使用してみても

・ケア提供者が8号用紙に記録することで、入所者の経過がわかりやすくなり、ケアに責任を持つことが出来た。

・入所者の1週間の経過、排泄状況が把握しやすくなった

(改善点では)

・チェック項目の字が小さく見えにくい

・電子カルテに移行できないか

#### 【考察】

1回目のアンケートの結果から記録の重要性は認識していたが、「文章が簡潔に書けない」「どのように記録しているのかわからない」という意見が出た。

田形氏は、「記録とは利用者の生活の証、又提供者の支援の証である。そして万が一の場合の証拠になる。より良いケアを提供しても、記録に残っていなければ、無駄になってしまう。客観的に証明できるのは、記録である。」と述べている。学習会をすることで、記録を重視していなかったことに気づき、グループワークすることで、記録方法も習得することが出来た。私達が行ったケア内容を残す為にも、確実に記録していく、それがケアの一連の過程であることを、職員は理解・再認識したと考える。

カルテ改善委員会として、今回カルテの見直しと、職員の記録に対しての意識を高めること

を目標に取り組みを行った。カルテの見直しとして、2冊を1冊へ変更し、今までのチェック方式プラス文章で記録をきちんと残せるように用紙の変更を行った。記録が多くなり、利用者の状態把握がしやすくなった。これまで、記録に関わらなかった介護職員を含め、全員が記録に関わるようになり、ケアに責任を持つようになった。落合氏は、「職員自身が、自ら考え、気づき、検討し職員全員で話し合っていくことが大切」と述べている。よって、職員全員で、学習会を持ち、全員にアンケートを取り、意見・要望を知ること、皆が関わることの出来る「みんなのカルテ」に近づけたと考えられる。

#### 【まとめ】

今回、カルテ改善委員会を発足して、カルテの見直しと、記録への意識改善を図ることが出来た。

「みんなのカルテ」は、職員全員で取り組んできたので、今後も目標を1つにし、より良いケアを提供していきたい。

#### 参考文献

- 1) 田形隆尚：“ケアが変わる”介護記録の書き方  
中央法規出版株式会社
- 2) 落合将則：月刊全国老人保健施設協会機関誌 2007年3月号  
社団法人全国老人保健施設協会発行

